



# さっぽろ都心まちづくり戦略 概要版 目次

## 1 都心まちづくり戦略とは

1-1	都心まちづくり戦略の必要性と位置づけ	1
1-2	都心まちづくり戦略の対象区域	2

## 2 都心まちづくり戦略の目標

2-1	都心まちづくりの目標と目指すべき将来像	3
2-2	目標実現のための空間形成の考え方	4

## 3 都心まちづくりの5つの展開戦略

3-1	都心まちづくりの取組方針～『展開戦略』	5
3-2	都心まちづくりの5つの展開戦略	6
	・ さっぽろ象徴戦略～さっぽろの持つ魅力を象徴する都心	6
	・ 創造都市さっぽろ戦略～創造性に富む人々が集い、活動する場	7
	・ 環境共生戦略～みどりのある美しい街並みと、環境低負荷型のまち	8
	・ 人を中心とした都心空間戦略～界わい性を感じるまち	9
	・ 人を中心とした交通戦略～まち歩きを楽しめる都心	10
3-3	都心まちづくりの展開プログラム	11

## 4 都心まちづくりの重点的な取組

4-1	重点的な取組の考え方	12
4-2	都心まちづくりの重点的な取組	13
	・ 4（骨格軸）－1（展開軸）－3（交流拠点）の骨格構造の実現	13
	・ 交流空間の形成	15
	・ 地下空間の拡充と活用	16
	・ 界わい空間の創出	17
4-3	都心まちづくりの重点地区【創成川以東地区】	18

## 5 協働による持続的なまちづくり

5-1	都心まちづくりにおける協働の考え方	20
5-2	重層的な体制によるエリアマネジメントの推進	20

# 1 都心まちづくり戦略とは

## 1-1 都心まちづくり戦略の必要性と位置づけ

### 成熟社会を迎えた 札幌の まちづくり

- 成熟社会にふさわしい、「持続可能なコンパクト・シティ<sup>1</sup>への再構築」を目指し、都市づくりの基本方向を転換することが重要となります。
- 札幌都心は、多くの人々が集い、活動する場であるため、高次元な都市機能の集積を図り、世界都市の顔として国内外に札幌の魅力をたゆまず発信し続けることが求められます。

### 新たな市政 に対応した まちづくり

- 「市民自治の推進」、「創造都市さっぽろ」、「環境首都・札幌」など、新たな市政の方向性に対応したまちづくりが求められています。

都心まちづくり戦略（以下本計画）は、**都心の目指すべき将来像と、それを実現するための基本的な方針、重点的に展開すべき取組**を明示することで、**多様な関係主体が協働して一体的にまちづくりを行っていくための指針**となる、10年間程度の計画です。

### 第4次札幌市長期総合計画（H12～H32）

#### 都心まちづくり計画（H14～）

都心まちづくりの長期的、総合的計画  
（計画期間：20年程度）

#### 都心まちづくり前期10年の取組

- 「4軸3交流拠点の骨格構造の実現」
- ・駅前通（地下歩行空間の整備）
- ・創成川通（連続アンダーパス化、親水緑地空間整備）

#### 都心まちづくり戦略（H23～）

- 社会情勢の変化、新たなまちづくりの方向性に対応した、**10年間程度の戦略的な計画**

■新たなまちづくりの必要性～『市民自治の推進』『創造都市さっぽろ』『環境首都・札幌』

■社会情勢の変化～少子化・高齢化、市民ニーズの多様化、コンパクト・シティ

<sup>1</sup>コンパクト・シティ：居住機能を中心に、さまざまな機能がまとまりをもって構成される、効率的で持続可能な都市構造。札幌市では、「都市計画マスタープラン」において、「持続可能なコンパクトシティへの再構築を進める」としている。

## 1-2 都心まちづくり戦略の対象区域

### 駅前通地区

- 札幌の玄関口であるJR札幌駅、メインストリートである札幌駅前通を中心とした地区である。
- 現在は、道庁や市役所などの官公庁や、銀行や商社などの事業所、地下街商店街、ホテルなどが建ち並び、都市機能の中核的役割を担う。

### 大通地区

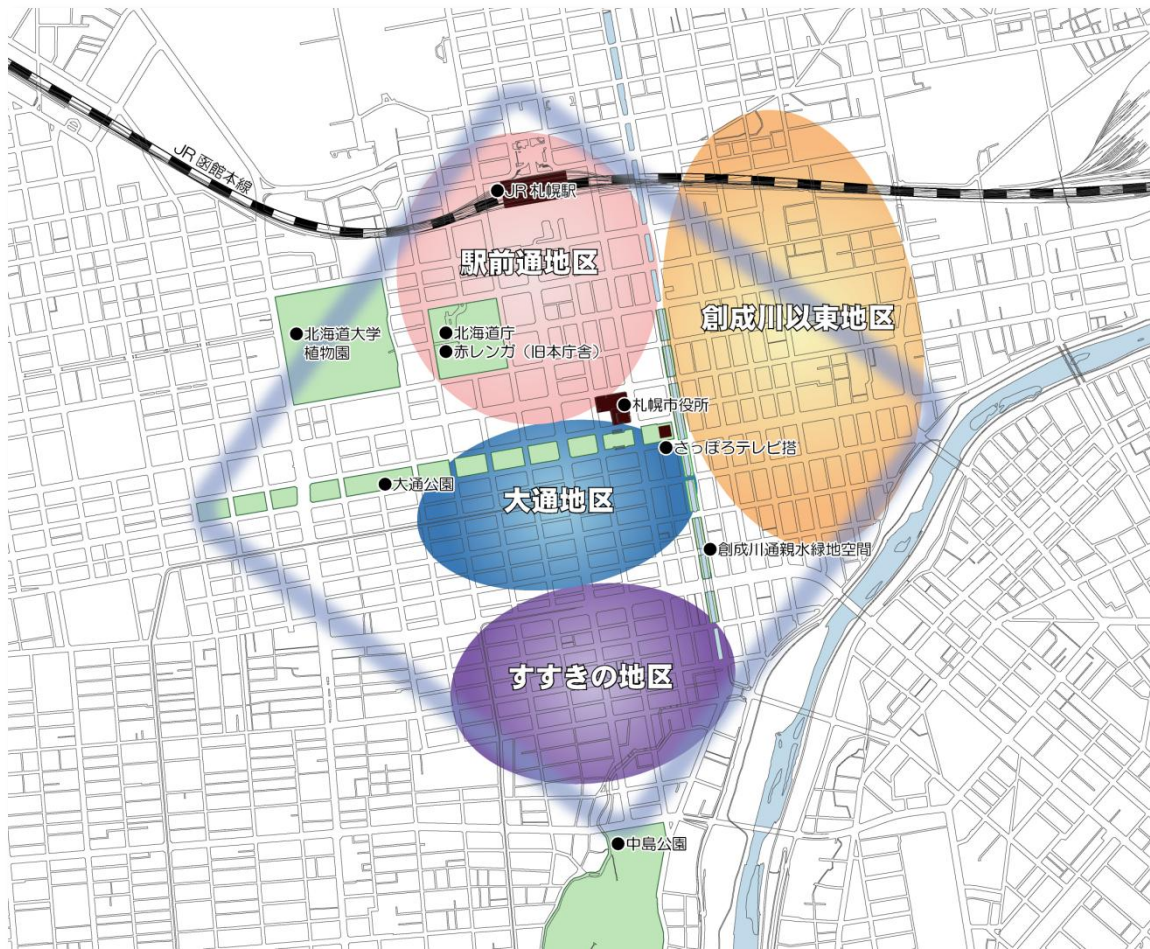
- 開拓使によって札幌本府としてのまちづくりが始められた、市内でも早くから開けた地区である。
- 商業地区として発展し、多くの百貨店やファッションビルが建ち並びなど、市内有数の商業ゾーンを形成する。

### すすきの地区

- 開拓使が今の南四・五条、西三・四丁目の二町四方を「薄野遊郭」と命名し、飲食店、旅人宿、貸座敷を集めたことが歓楽街のはじまりとなる。
- 今日では飲食店、風俗店、ホテル、娯楽施設などが集まる、東京以北最大の歓楽街である。

### 創成川以東地区

- ものづくりの場として古くから札幌の発展を支えてきた地区である。
- 都心にありながら開発余地が今日まで多く残され、近年は人口の大幅な増加など、まちづくりの促進が期待される。



■ 都心まちづくり戦略の対象区域

## 2 都心まちづくり戦略の目標

### 2-1 都心まちづくりの目標と目指すべき将来像

#### 都心まちづくりの目標

**世界**に向け魅力を発信し、**市民**生活を豊かに  
する都心の創出

【人・創造・環境】を視点としたまちづくり

#### 目指すべき都心の将来像

**人**を中心とした  
魅力あるまち



人を中心とした魅力的で質の高い空間づくりを進め、多くの人が集い、多様な活動が可能となる場の実現を目指します

新たな文化と活力を  
**創造**するまち



創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト・モノ・情報を発信していく「創造都市」の実現を目指します

みどり豊かな  
**環境**にやさしい  
まち



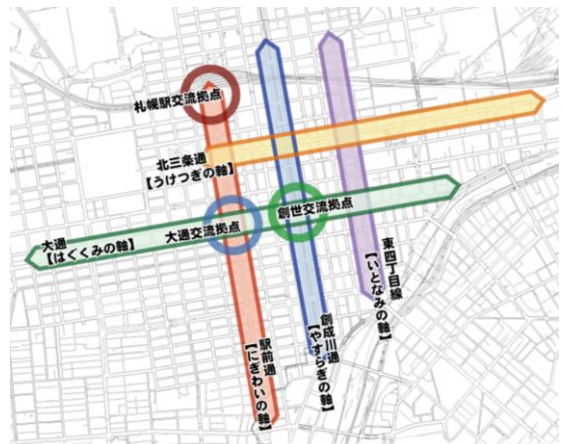
みどり豊かな美しい街並みの創出と環境低負荷型の都市システムの創造により、環境的に持続可能な、次世代に受け継がれる都市の実現を目指します

## 2-2 目標実現のための空間形成の考え方

### 空間形成の力点①

### 4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)の骨格構造の実現

「都心まちづくり計画」で位置付けた4つの骨格軸と3つの交流拠点に加え、創成川以東地区を含めた一体的な都心域の形成を図るため、東四丁目線を創成川以東地区のまちづくりを支える「展開軸」として新たに位置づけます。これによって、新たな都心の骨格構造を【4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)】とします。

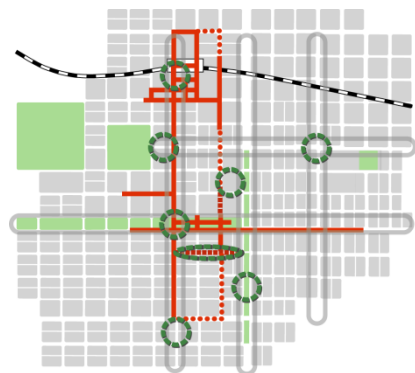


### 空間形成の力点②

### 交流空間のネットワークの形成

大通公園をはじめとする象徴性のある「骨格的な交流空間」、市民の多様な活動を支える「拠点的な交流空間」を適正に配置します。

これらの規模や性質の異なる交流空間を地上地下の多様性に富んだ街路によってネットワーク化し、新たな回遊、交流を創出します。



■ 交流空間のネットワーク

### 空間形成の力点③

### 界わい空間の創出

人を中心とした空間づくりを進めるためには、象徴的な表通りに加え、街区内に小路を創出するなど、奥行きのある街並みを形成することが重要です。

このため、民間によるまちづくりへの参画を促し、開発などを通じて、身近な公共空間（「界わい空間」）を創出します。

#### 「界わい空間」とは

「界わい性」とは、地域のにぎわいや活気といった、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並みの様子を指し、一見、バラバラな個別の要素が、全体として合理的にまとまった状態にある場が「界わい性のある空間」とされます。

都心のまちづくりでは、象徴性の高い整った景観を備えた都市軸の強化を図るとともに、表通りにはない札幌の新たな一面を体感し、個々の関心や興味を誘発する、日常に近い空間を「界わい空間」として位置づけ、官民の協働の取組によって創出します。



# 3 都心まちづくりの5つの展開戦略

## 3-1 都心まちづくりの取組方針～『展開戦略』

都心の将来像を実現するためには、戦略性を持った中長期的な取組を段階的に展開する必要があり、さらに、社会情勢の変化に対応できる柔軟性を備えた取組を進めることが重要となります。

そのためには、都心まちづくりの基本的な考え方をまちづくりに関わる多様な主体が共有し、連携して取り組むことが求められます。

このような観点から、都心まちづくりにおける具体的な取組の方針を「都心まちづくりの展開戦略」として位置づけます。



## 3-2 都心まちづくりの5つの展開戦略

# 1 さっぽろ象徴戦略～さっぽろの持つ魅力を象徴する都心～

札幌の新たな魅力と活力を都心において来街者がひと目で見て取り、体感できる象徴性を有する街並みを創造します。

### 骨格軸の強化と展開軸の形成を図ります

#### ◆にぎわいの軸（駅前通）

- ・地下歩行空間整備、地上部再整備による新たな回遊とにぎわいの創出
- ・「創造都市さっぽろ」を象徴する空間の形成



#### ◆はぐくみの軸（大通）

- ・札幌らしさの象徴とともに、人々の多様な活動を支える空間創出
- ・開発の動向の合わせた東方向への延伸の検討



#### ◆やすらぎの軸（創成川通）

- ・創成川通親水緑地空間整備による「環境首都・札幌」を象徴する環境創出
- ・北方向への機能強化の検討



#### ◆うけつぎの軸（北三条通）

- ・札幌の都市形成を支えた歴史的価値の継承
- ・みどりのある美しい景観の形成



#### ◆いとなみの軸（東四丁目線）

- ・都心の新たな魅力を象徴する創成川以東地区の基軸の形成
- ・北三条通、大通との連携により、都心全体の回遊性を向上

### 交流拠点の強化・形成を進めます

#### ◆札幌駅交流拠点

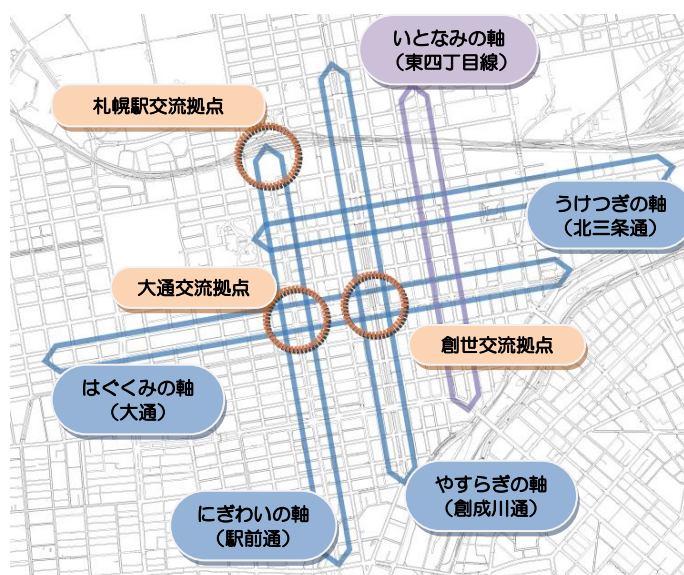
- ・新たな機能の導入、交通結節点機能の強化による道都札幌の玄関口にふさわしい拠点の形成

#### ◆大通交流拠点

- ・地上・地下の一体的整備による、中心性を象徴する「サッポロ広場」の形成

#### ◆創世交流拠点

- ・官民協働による、先進性、独自性、多様性のあるにぎわいの創出
- ・市民交流複合施設の整備などによる、札幌の新たな創造性の象徴と発信

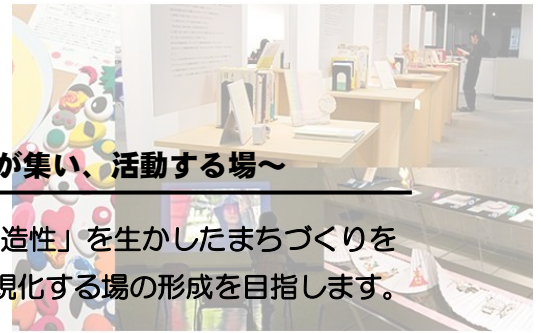


■都心の骨格構造



## 創造都市さっぽろ戦略～創造性に富む人々が集い、活動する場～

「創造都市さっぽろ」を象徴的に発信する場の創出など、「創造性」を生かしたまちづくりを進め、新たなまちづくりの方向性を先導し、象徴的・集約的に具現化する場の形成を目指します。



### 「創造都市さっぽろ」を象徴的に発信する場・機会を提供します

#### ◆創造活動のプラットフォーム<sup>2</sup>としての創世交流拠点の形成

- ・文化芸術振興及び創造活動の拠点となる市民交流複合施設の実現



#### ◆公共空間における創造的な場の形成

- ・大通公園や創成川公園でのアートワークなど、公共空間における創造的な場の形成や活動を展開

#### ◆地域特性を生かした地下ネットワークの創造的な活用

- ・駅前通地下歩行空間（北二条地下広場）におけるメディア・アートなどの発信や、地下鉄東西線コンコース（大通駅・バスセンター前駅間）における「500m美術館」の常設化など、地下ネットワークの活用を推進



#### ◆「創造都市さっぽろ」を発信するイベントなどの展開

- ・札幌の創造性・文化性を発信し、世界と連携できるイベント（国際芸術展など）の展開と既存の文化・芸術イベントの連携

### 「創造都市さっぽろ」を支える人材の育成を進めます

#### ◆身近な創造的空間の創出

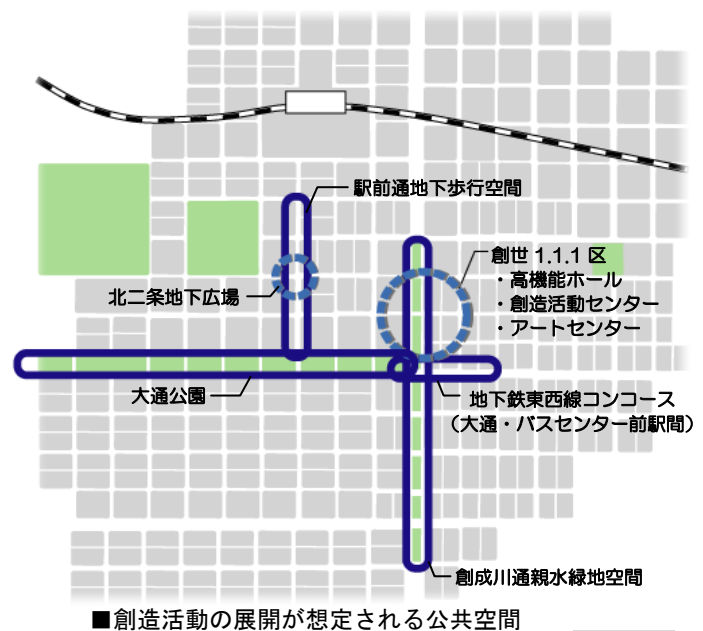
- ・既存施設の活用や民間開発などを通じ、市民やクリエイターが身近に創造活動に触れ、参加できる場や機会を創出

#### ◆アートセンター

- ・多様な分野の実践者、専門家から知識や構想力を学ぶ「場」をつくるなど、文化芸術の担い手の育成を支援

#### ◆創造活動センター

- ・次世代の創造活動の中心を担う人材の育成
- ・創造活動がビジネス活動へと結びつく環境の整備



<sup>2</sup> プラットホーム：鉄道駅にある、列車に乗り降りするための台状の場所。ここでは、「上部のさまざまなもの(多様な創造活動)を広く大きく支え、結びつけるもの」を指す。

# 2 環境共生戦略～みどりのある美しい街並みと、環境低負荷型のまち～



エネルギーや資源の効率的利用を積極的に推進し、環境への負荷を抑制するとともに、高次な都市機能が集積しながらも、豊かなみどりを備えた街並みの形成を目指します。

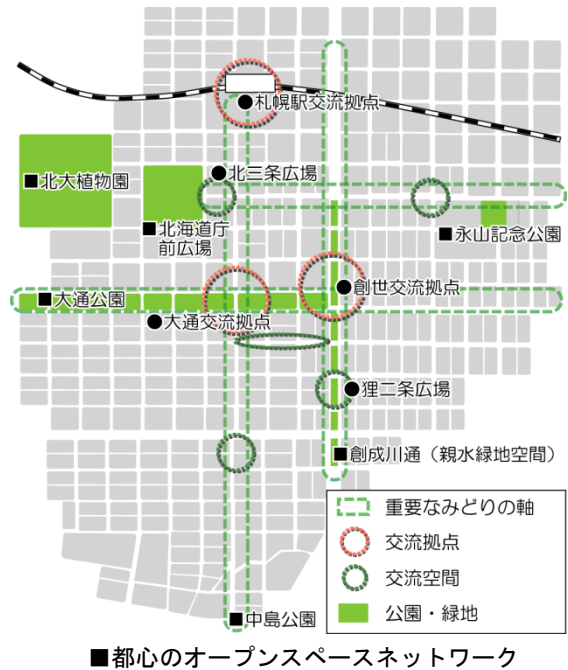
## みどりの創出とネットワーク形成を推進します

### ◆札幌の顔となる景観の創出

- ・「重要なみどりの軸（骨格軸）」や、道庁前庭などの拠点を中心に、樹木を主体とした景観を形成

### ◆まちづくりに合わせたみどりの創出

- ・民間による緑化やオープンスペースの緑化推進の支援などを通じて、公有地以外においても札幌らしい緑化を推進



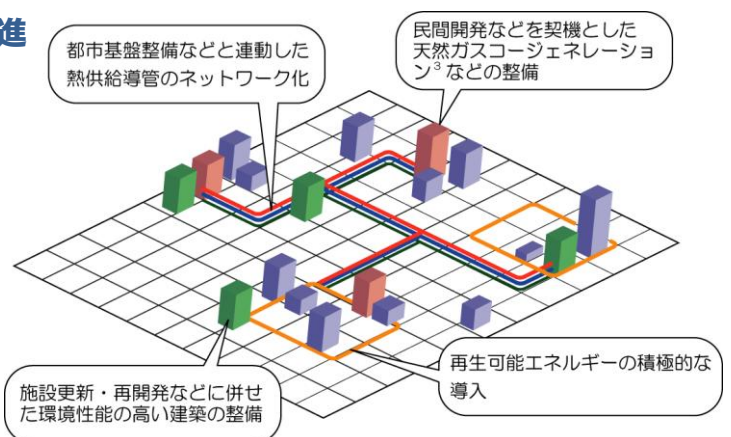
## エネルギーや資源の効率的な利用を進めます

### ◆人と環境を重視した都心交通の推進

- ・公共交通機関の利用促進
- ・人や環境にやさしい路面電車の導入検討
- ・自転車利用環境の向上

### ◆環境低負荷型エネルギー利用の推進

- ・エネルギーネットワークや再生可能エネルギーの活用、省エネルギー設備の導入などにより、環境低負荷型のエネルギー利用を促進



<sup>3</sup> 天然ガスコージェネレーション: 天然ガスなどを燃料としてエンジン、タービン、燃料電池により発電し、その際に生じる排熱を回収してお湯や蒸気をつくり、給湯や暖房に利用する熱電併給システム。省エネルギー性、経済性に優れる。

# 4 人を中心とした都心空間戦略～界わい性を感じるまち～



人々の多様な活動を支える場として、街路や広場、公園などの公共空間（「交流空間」）を創出するとともに、多様な街路空間を創出することで、変化に富んだ奥行きのある街並みを形成し、表通りにはない都心の新たな界わい性を生み出します。

## 回遊や交流を支える場の創出を図ります

### ◆骨格的な交流空間

- ・大通公園、創成川公園、北海道庁前広場、永山記念公園、北海道大学植物園

### ◆拠点的な交流空間

- ・骨格軸などの交わる結節点に回遊を支える拠点的な交流空間を配置
  - 今後創出する交流空間・・・札幌駅交流拠点、大通交流拠点、創世交流拠点、北三条広場、狸二条広場
  - 今後検討すべき交流空間・・・南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差部周辺、駅前通・月寒通交差部周辺など

### ◆交流空間のネットワーク

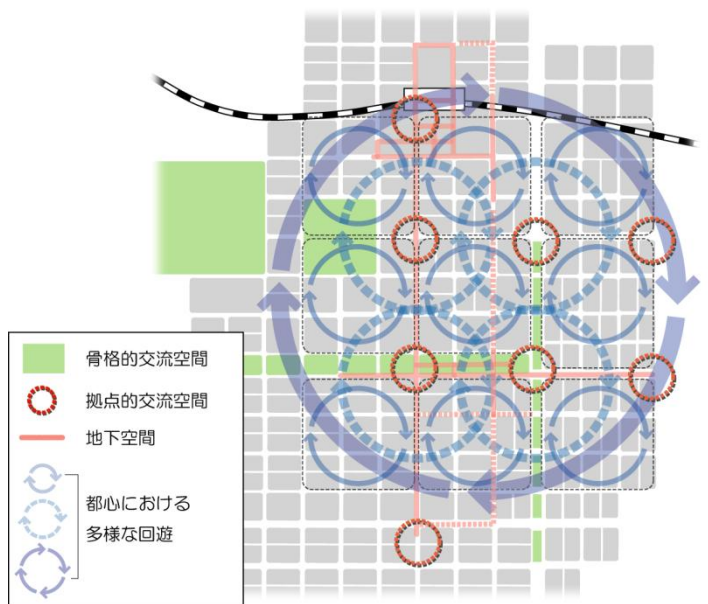
- ・骨格軸などの強化や再開発などに併せた地下空間の整備により、交流空間相互をネットワーク化
  - 地下空間の整備・・・・・・・・駅前通地下歩行空間
  - 地下空間の整備検討・・・・・・・・南一条地下空間、西二丁目地下空間

### ◆「界わい空間」の創出

- ・民間開発などを通じた、変化に富んだ奥行きのある身近な公共空間（「界わい空間」）の創出

### ◆支援制度の充実

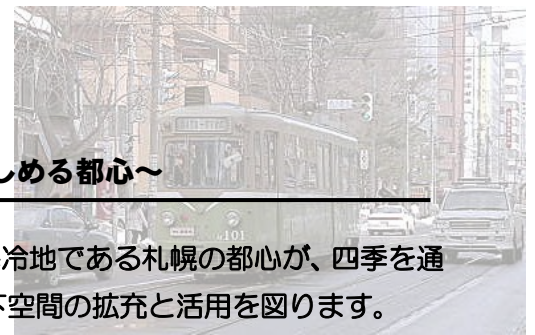
- ・「界わい空間」の創出に対する民間へのインセンティブ（都市計画法・建築基準法などの弾力的運用など）の付与の検討



■都心における多様な回遊

# 5 人を中心とした交通戦略～まち歩きを楽しめる都心～

回遊や交流を支える交通環境の充実を進めるとともに、積雪寒冷地である札幌の都心が、四季を通じて「歩いて楽しい都心」としての魅力を発揮するために、地下空間の拡充と活用を図ります。



## 人を中心とした交通環境の充実を図ります

### ◆歩行・自転車走行環境の強化

- ・街路整備に併せた歩行環境の強化や自転車走行空間の明確化

### ◆駐輪場の整備

- ・既存空間の活用や、民間開発などに合わせて需要や利用特性に応じた駐輪場を確保



### ◆公共交通の拡充検討

- ・新たな回遊やにぎわいを生み出す路面電車の導入など、人や環境にやさしい公共交通の拡充を検討

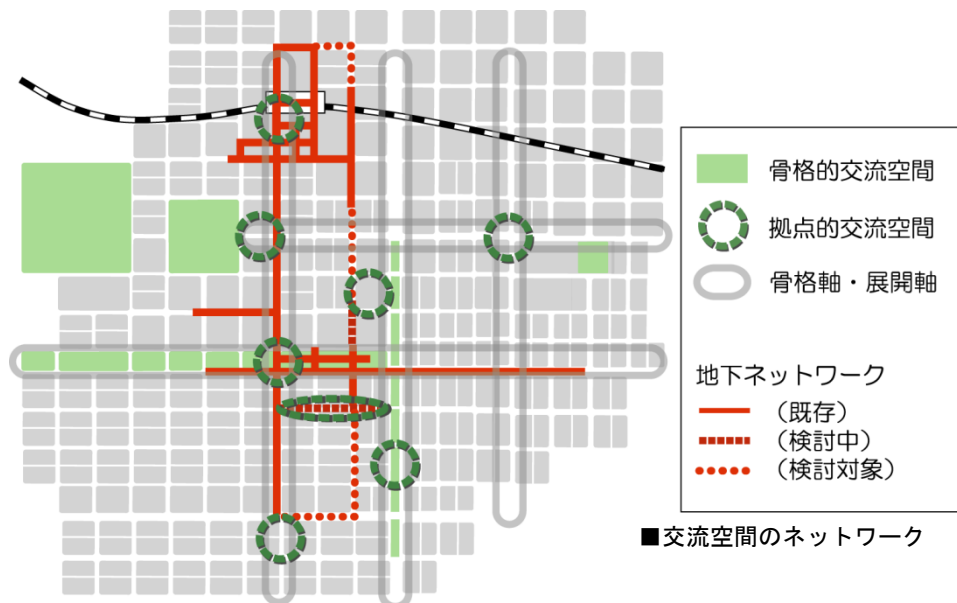
## 地下空間の拡充と活用の推進を図ります

### ◆地下空間の拡充

- ・地下歩行空間ネットワークの拡充を図るとともに、隣接する民間ビルの建替えやそれに伴う地下接続を促進
  - 地下空間の整備・・・駅前通地下歩行空間
  - 地下空間の整備検討・・・南一条地下空間、西二丁目地下空間

### ◆地下空間活用の推進

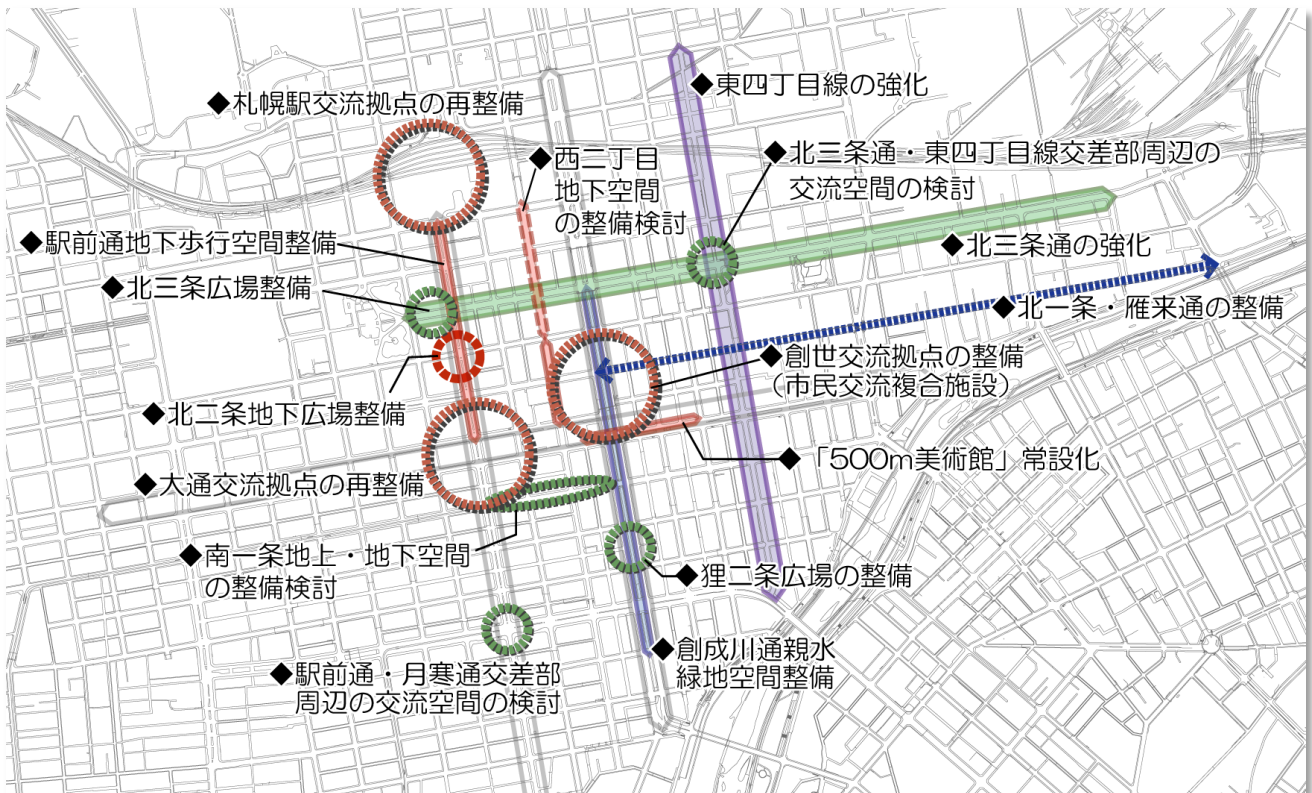
- ・地下空間活用の基本方針（P16 参照）に基づき、空間の特性に合わせた活用を推進



### 3-3 都心まちづくりの展開プログラム

都心まちづくりの5つの展開戦略を実現するため、今後10年間程度の実施を「都心まちづくりの展開プログラム」として位置づけ、戦略的なまちづくりを進めます。

<b>展開戦略1</b> <b>さっぽろ象徴戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駅前通地下歩行空間整備及び地上部再整備</li> <li>●創成川通親水緑地空間の整備</li> <li>●骨格軸（北三条通）と展開軸（東四丁目線）の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●景観計画重点区域の検討（道庁周辺地区、北三条通など）</li> <li>●札幌駅交流拠点と大通交流拠点の再整備</li> <li>●創世交流拠点（創世1.1.1区）の整備</li> </ul>
<b>展開戦略2</b> <b>創造都市さっぽろ戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民交流複合施設の整備（高機能ホール・アートセンター・創造活動センター）</li> <li>●駅前通地下歩行空間（北二条地下広場）の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●500m美術館の常設化</li> <li>●アートイベント（国際芸術展など）の展開</li> </ul>
<b>展開戦略3</b> <b>環境共生戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹木を主体とした街並みの形成</li> <li>●貴重な樹木の保全</li> <li>●緑化推進支援制度の活用</li> <li>●公共交通機関の利用促進</li> <li>●路面電車の導入検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自転車利用環境の向上</li> <li>●環境低負荷型のエネルギー利用の推進</li> <li>●環境低負荷型の建築物の普及推進</li> <li>●北4東6周辺地区のまちづくりの検討</li> </ul>
<b>展開戦略4</b> <b>人を中心とした都心空間戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流空間の整備（北三条広場、狸二条広場）</li> <li>●創世交流拠点（創世1.1.1区）の整備</li> <li>●民間開発などへの支援制度の検討</li> <li>●地下空間の整備検討（南一条地下空間、西二丁目地下空間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流空間の検討（南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差点周辺、駅前通・月寒通交差点周辺など）</li> </ul>
<b>展開戦略5</b> <b>人を中心とした交通戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北一条・雁来通の整備</li> <li>●東四丁目線の強化</li> <li>●自転車走行空間の明確化</li> <li>●駐輪場の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●路面電車の導入検討</li> <li>●地下空間の整備検討（南一条地下空間、西二丁目地下空間）</li> <li>●地下空間の活用検討</li> </ul>



# 4 都心まちづくりの重点的な取組

## 4-1 重点的取組の考え方

### 重点的取組

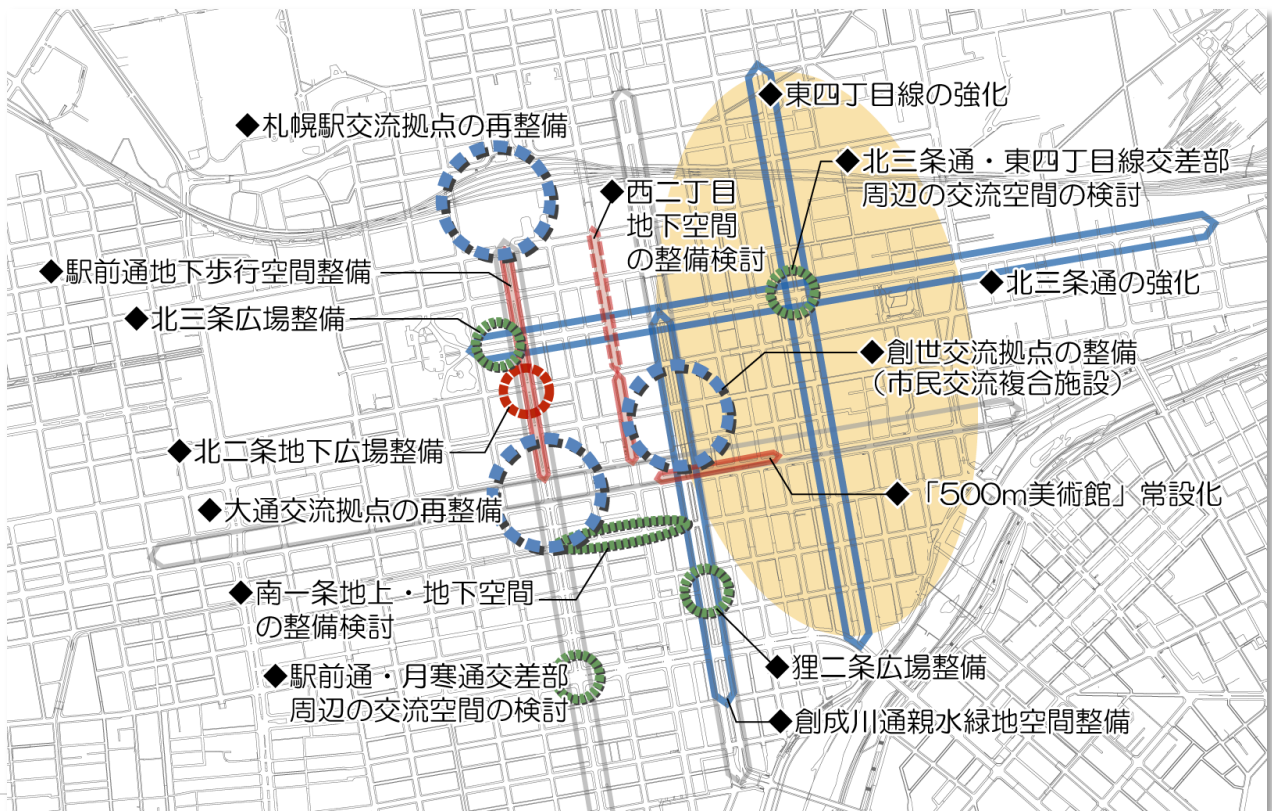
将来像を実現する上で重要となる取組を「重点的取組」として位置づけ、展開していきます。

- 4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)の骨格構造の実現
- 地下空間の拡充と活用
- 交流空間の形成
- 界わり空間の創出

### 重点地区

新たな都心の魅力創出に向け、重点的にまちづくりを進める地区を、都心まちづくりの「重点地区」として定め、先導的な取組を推進します。

- 創成川以東地区を「重点地区」として位置づけ、創成川以西とは異なった新たな都心の魅力を創出するなど、相互連携・補完を図りながら、都心全体が一体となった発展を目指します。



## 4-2 都心まちづくりの重点的取組

### 1 4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点) の骨格構造の実現

#### 北三条通の強化

##### 空間形成の目標

通りの歴史性を継承しながら、みどりのある美しい景観を形成することで、北海道庁日本庁舎(赤レンガ庁舎)を基点とし、都心の魅力を東方面へ波及させる軸として、骨格軸にふさわしい街並みを形成します。

##### 「北三条広場」から連続するみどり豊かな道路空間の形成

- ・通りの特徴であるイチョウ並木の育成と、植樹帯などの整備による、みどりの軸線の強化
- ・「北三条広場」の整備を通じた、象徴的な街並みの形成

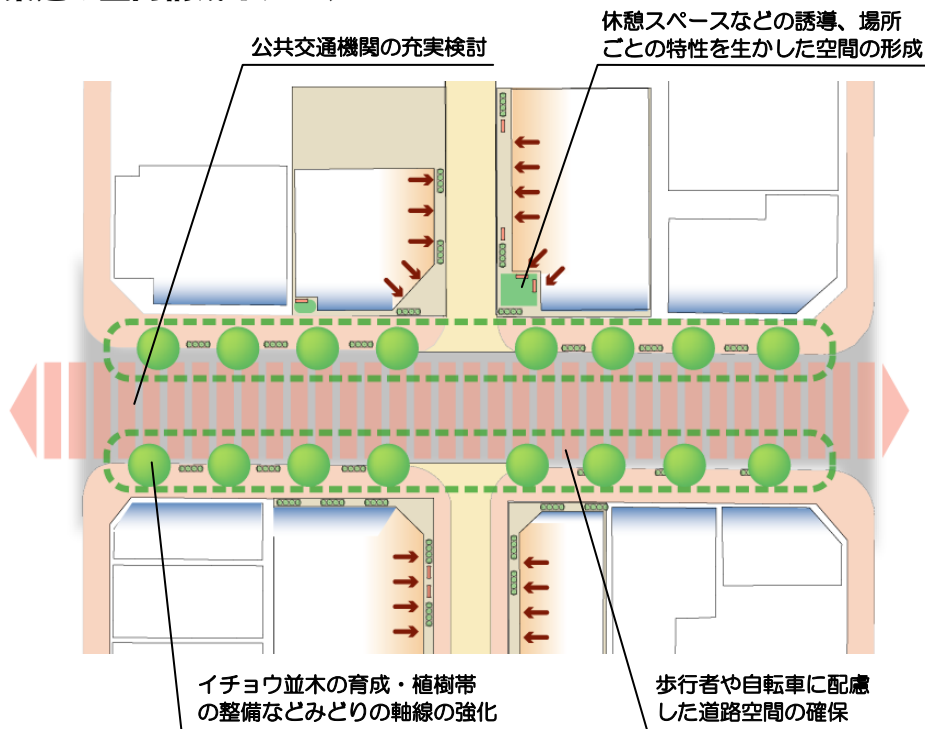
##### 東西市街地を結ぶ回遊機能の向上

- ・公共交通機関の充実検討
- ・歩行者や自転車に配慮した道路空間の確保
- ・身近な休憩スペースの確保

##### 地域資源を生かした魅力ある空間の形成

- ・歴史性を感じる資源の有効活用
- ・特徴的な建物やみどりなど、場所ごとの特性を生かした空間の形成

#### ■北三条通の空間構成イメージ



## 東四丁目線の強化

### 空間形成の目標

創成川以東地区における、市民や来街者の回遊・交流を生み出す魅力的な街並みの形成を進め、人を中心としたまちづくりを促進します。

北三条通、大通の2つの東西方向の骨格軸との連携により、東西市街地の結びつきを強め、都心全体の回遊性の向上を図ります。

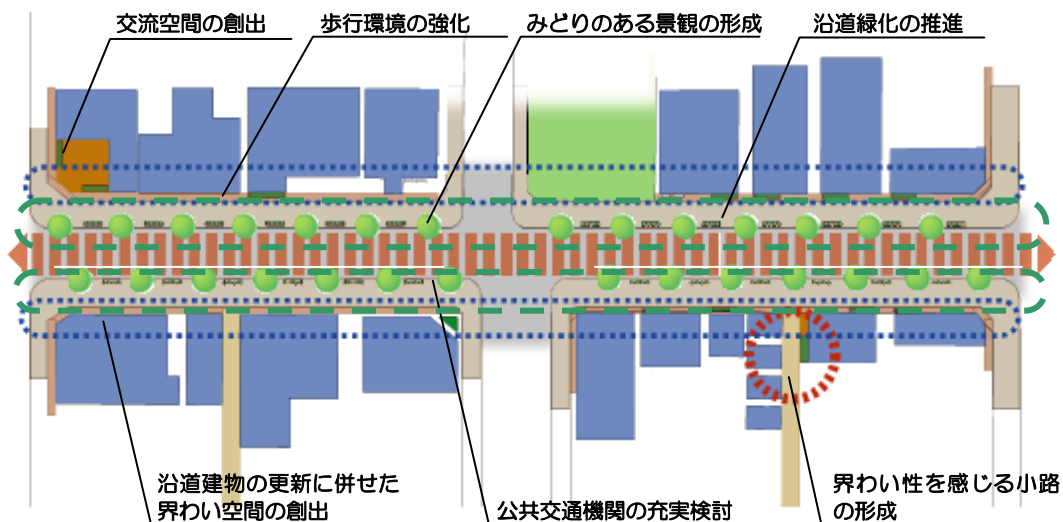
### 創成川以東地区の回遊性を支える通りの形成

- ・歩行環境の強化
- ・みどりのある景観の形成
- ・公共交通機関の充実検討

### 界わい性やにぎわいを感じる通りの形成

- ・北三条通・東四丁目線交差点周辺における「交流空間」の創出
- ・沿道や周辺街区での建物更新に合わせた「界わい空間」の創出

### ■東四丁目線の空間構成イメージ



### ◆東四丁目線の空間構成イメージ

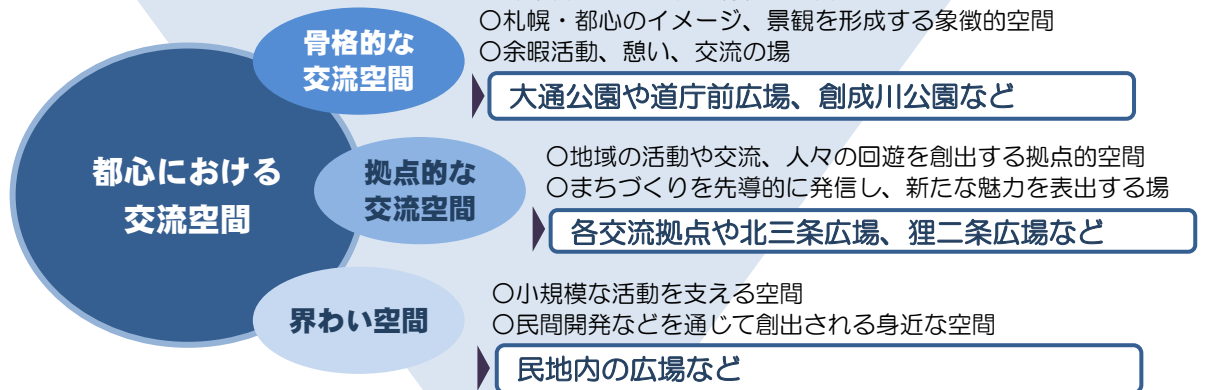


空間形成の  
目標

市民や来街者の多様な活動を支える場として、街路や広場、公園などの公共空間（「交流空間」）の創出が重要となります。

都心に集う市民の活動や、にぎわい、交流、憩いの風景が日常的に見える街並みを創出します。

## ■交流空間の捉え方

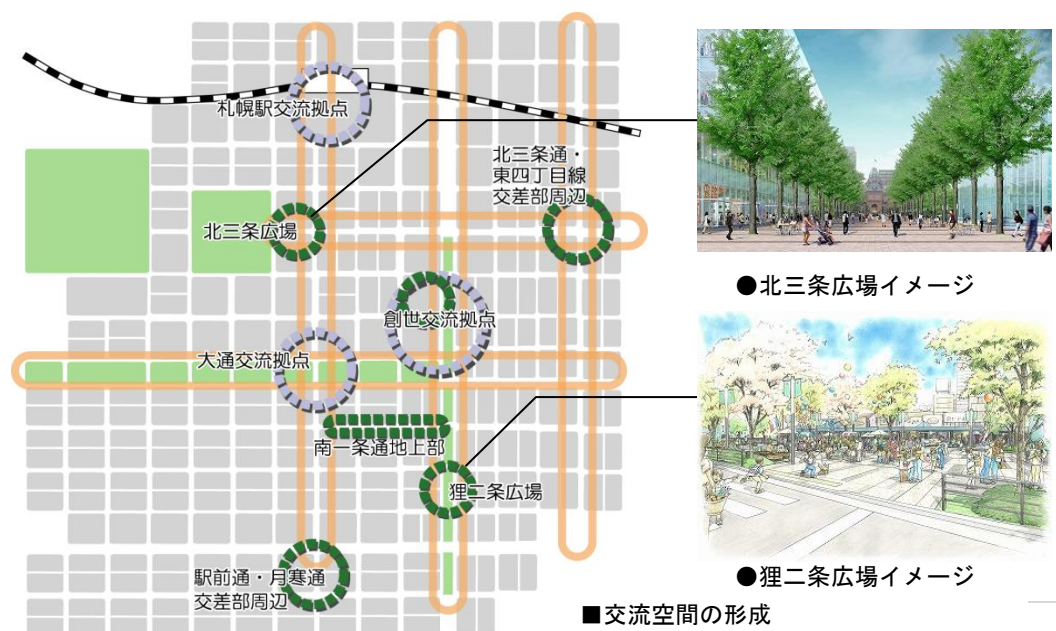
拠点的な  
交流空間の  
創出

## ■今後創出する交流空間

～札幌駅交流拠点、大通交流拠点、創世交流拠点、北三条広場、狸二条広場

## ■今後検討すべき交流空間

～南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差部周辺、駅前通・月寒通交差部周辺など



空間形成の  
目標

安全で快適な地下歩行空間を拡充することで、多様性のある交流空間のネットワーク形成を図るとともに、既存空間も含めた地下空間を有効に活用することで、新たなにぎわいや回遊を生み出します。

地下空間の  
拡充

## ■地下空間の整備

## ●駅前通地下歩行空間

- ・札幌駅交流拠点と大通交流拠点を結ぶ地下歩行空間を整備します。
- ・沿道ビルとの地下接続や、北二条地下広場をはじめとする空間活用など、地上地下が一体となったにぎわいを創出します。



## ■地下空間の整備検討

## ●西二丁目地下空間

- ・札幌駅交流拠点と創世交流拠点を結ぶ西二丁目地下空間の検討を進めます。

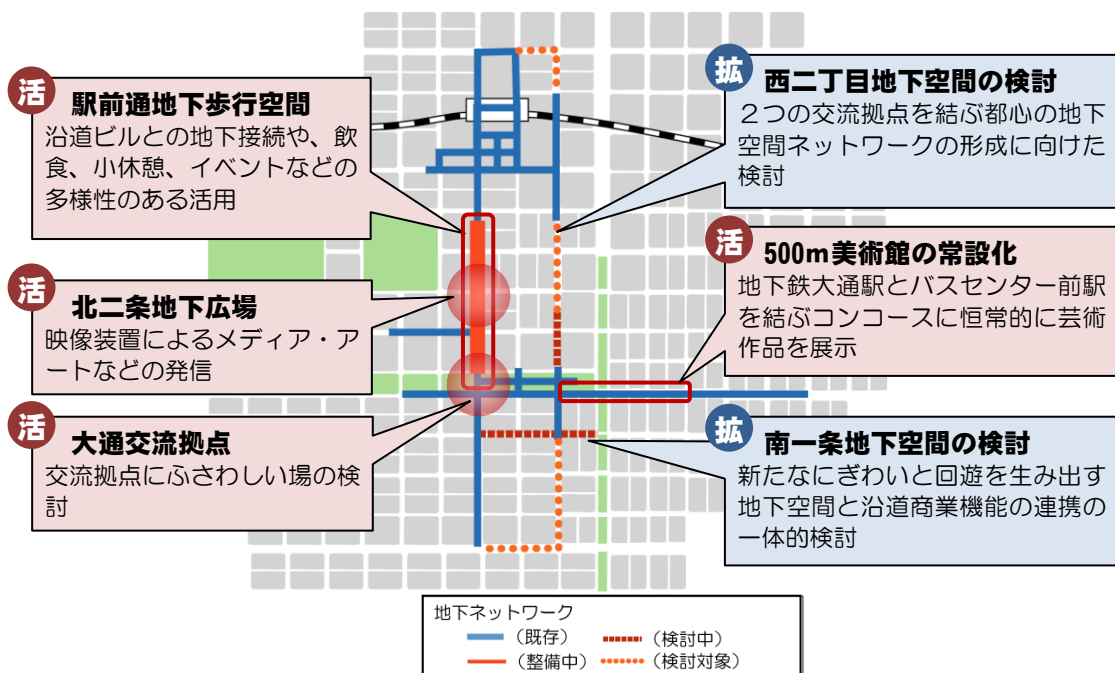
## ●南一条地下空間

- ・官民協働による、地上地下を含めた一体的なにぎわい空間の形成について検討を進めます。

地下空間の  
活用

## ■活用の基本方針

- 1 活用ネットワークの形成
- 2 複合的な空間活用の推進
- 3 地上・地下の連携の促進
- 4 活用主体とスキームの確立



■地下空間の拡充と活用

# 4

## 界わい空間の創出

### 空間形成の目標

人を中心とした都心の空間づくりにおいては、象徴的な表通りに加え、街区内の小路の創出など、変化に富み、奥行きのある街並みの形成が重要です。

こうした象徴性と界わい性が共存し、多様性のある空間の創出が、市民や来街者にとって絶えず新たな刺激のある、魅力的な都心まちづくりを進めることにつながります。

きめ細かな空間形成には、官民の協働による取組が重要となるため、民間の都心まちづくりへの参画を促し、開発などを通じて、身近で人を中心とした「界わい空間」を創出します。

### 界わい空間の創出

- ・界わい空間形成のガイドラインの作成
- ・界わい空間の創出
- ・界わい空間の持続的運営・活用

### ■新たな界わい空間の形成に資する空間の考え方

#### 貫通通路・パッサージュ<sup>4</sup>

- 沿道のにぎわいの展開



#### 広場や屋内空間

- 市民活動やイベント展開
- オープンカフェ、露店などの小休憩・滞留空間



#### 公共空間のみどりの創出

- みどり豊かな空間の創出



#### 公共駐輪場

- 街なかの安全性と良質な景観形成



#### 歩道状空地

- 歩道と一体となった歩行者空間や休憩・滞留の場



#### 地下接続

- にぎわい機能の配置
- 地上・地下の一体的活用
- 地上・地下の連絡



#### 歴史的資源の保全・活用

- 歴史的資源への眺望確保
- デザインの調和等



<sup>4</sup>パッサージュ: フランス語で「通路」「小径」。

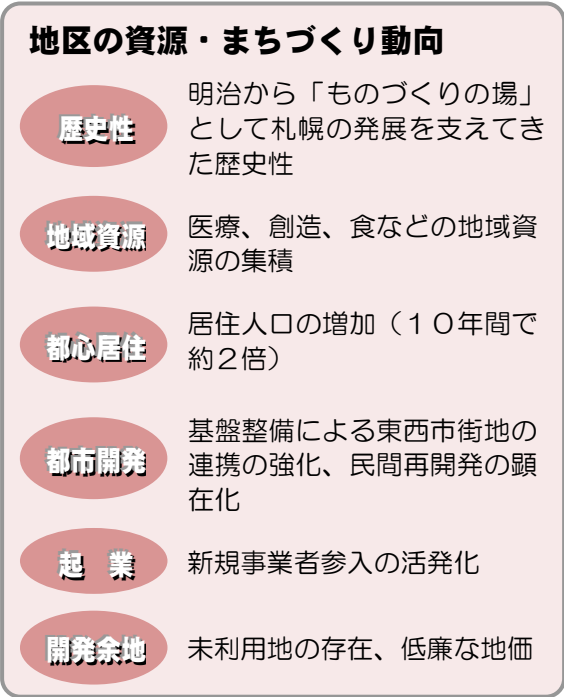
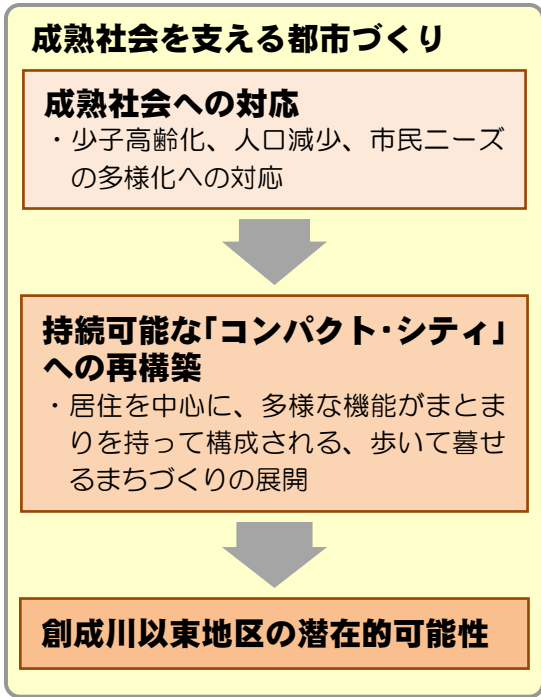
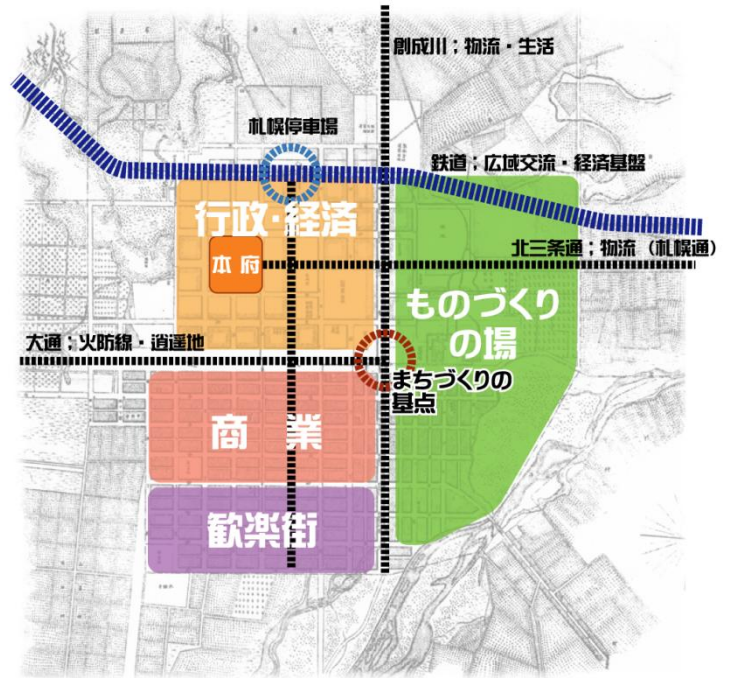
# 4-3

## 都心まちづくりの重点地区【創成川以東地区】

### 創成川以東地区のまちづくりの必要性

開拓以降、工業拠点として札幌の発展を支えた創成川以東地区は、都市の拡大や工業機能の郊外化といった成長期のまちづくりから立ち遅れ、土地の低未利用などの課題を抱えています。

また、成熟社会に対応し、持続可能なコンパクト・シティを実現するためには、居住人口が大幅に増加するなど、高いポテンシャルを持つ創成川以東地区において、官民が地区の将来像を共有しつつ、連携、協調して計画的なまちづくりを進めていく必要があります。



創成川以東地区を「重点地区」として位置づけ、官民が地区の将来像を共有しつつ、連携、協調して計画的なまちづくりを進めていくことが必要

## 「職」・「住」・「遊」近接の 歩いて暮らせる 創造性豊かなまち



### 誰もが都心の魅力を享受しながら快適に暮らせるまち

#### 【多様な都市サービスが近接した歩いて暮らせるまち】

居住を中心に、店舗や施設など日常生活を支える多様な機能が徒歩圏で構成される、歩いて暮らせるまちを目指します。



#### 【高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち】

総合病院や介護・福祉支援サービスなどの集積を生かし、高齢者や障がい者が安心して都心で暮らせる住環境の創出を目指します。



#### 【働き盛りの世代が都心の魅力を享受しながら暮らせるまち】

働き盛りの世代の人が、都心のさまざまな魅力を享受しながら、質の高いライフスタイルを展開できるまちを目指します。

### 人を中心とした界わい性を感じるまち

#### 【「歴史」と「今」が調和するまち】

地区の歴史や文化を継承しながら、古い建物の用途転換など、歴史性を感じるストックを有効に活用し、古さと新しさが調和したまちを目指します。



#### 【良質な街並みを備えた人を中心としたまち】

快適な歩行環境や、みどりのある街並み、人々の多様な活動を支える交流空間など、人を中心とした良質な都市空間の形成を目指します。



### さまざまな活動ができる創造性豊かなまち

#### 【新規事業者の創意を生かすまち】

多様な価値観、自由な発想、チャレンジ精神を持った新規事業者の創造性を生かし、市民や来街者の多様なニーズに応え得るまちを目指します。



#### 【創造的な活動が生まれるまち】

若い世代などが創造的な活動を行う場を目指すとともに、市民や来街者が身近に創造的な活動に触れられるまちを目指します。



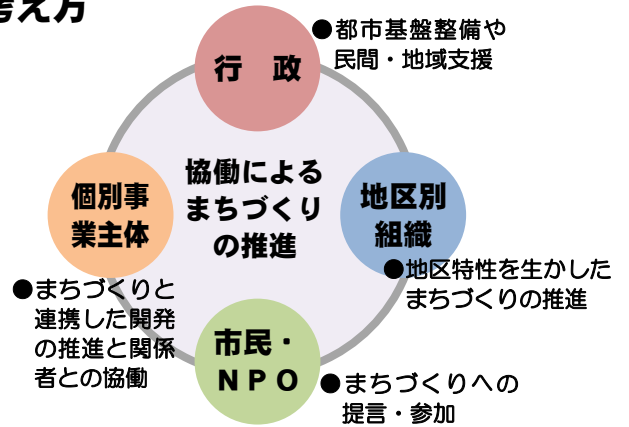
#### 【地域に関わる人が誇りや愛着を感じるまち】

まちに関わる多様な人々が自らまちづくりの担い手となり、地域の価値の向上に取り組んでいけるような、誇りや愛着を感じるまちを目指します。

# 5 協働による持続的なまちづくり

## 5-1 都心まちづくりにおける協働の考え方

成熟型社会への移行に伴い、これからのまちづくりには、管理運営にも配慮し、地域に関わるさまざまな人々が地域特性を重視し、協働で地域の価値を維持・向上させるための取組、『エリアマネジメント』の視点が重要となります。



## 5-2 重層的な体制によるエリアマネジメントの推進

持続的かつ効果的にまちづくりを進めていくために、街区単位、地区単位、さらには都心全体を対象とする重層的なマネジメント体制を構築します。

こうした体制に基づき、各地区の特性にあったまちづくり、地区間連携・協働による一体的な都心のまちづくりを推進します。

